

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

日本会計コンサルティング株式会社

②事業者情報

名称：	大袋北保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	永原由美子	定員(利用人数)：	100 名
〒	343-0032		
所在地：	埼玉県越谷市袋山475-3	TEL	048-974-8591

③評価実施期間

平成 30 年 7 月 17 日(契約日)～令和 2 年 3 月 11 日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

【子どもの気持ちを受け入れ、子どもの主体性を伸ばしていこうとする取り組みをしています】
職員は、各年齢に見合った子どもの気持ちを把握し、子どもの訴えを受け入れるようにしています。具体的には、乳児および幼児クラスの遊びにおける子ども一人ひとりの訴えに応える声かけと、子ども一人ひとり違う教材への興味関心に合わせた対応をしています。一人ひとりの子どもの遊びや生活面における意欲とモチベーションを受け止め、遊びたい気持ちが促進するような対応になっています。また、子どもたちが何事にも自主的に取り組めるような環境を整え、子どもの主体性を伸ばしていこうとする取り組みをしています。職員の対応と、遊びの環境が相まって子どもの気持ちの成長を促しています。

【自然に恵まれた環境を活かし、小動物や植物など生き物の成長に対する喜びを提供しています】
当保育所は、自然に囲まれた環境にあり、身近に小動物や植物に触れる機会があります。近隣の散歩を含め、四季折々の自然を堪能できる環境に恵まれています。各年齢に合わせた散歩コースは「散歩コースマップ」に記載しており、どのクラスの子どもたちがどこの場所に行っているのかを確認出来ます。玄関には、親子や子ども同士で亀の成長が見られる環境があります。園庭の畑には、次年度に芽を出して成長する根菜が年中児によって植えられています。小さい年齢の子どもたちもこの幼児の活動に触れ、観察することができます。身近な自然の変化に気づき、生き物である動植物の成長する姿と変化を通じて、楽しみや喜びを提供しています。

【子どもの健康管理やアクシデントへの対応が整っており、子どもが安心して生活しています】
当保育所では、内科や歯科などの定期健診を行い、子どもたちの健康管理を図っています。乳児は、毎月嘱託医の受診を受けています。子どもの健康管理は、主に看護師が中心になって行っています。看護師は担当職員と連携をとり、子どもの生活が衛生的に営まれ、元気で活発に過ごせるように支援をしています。具体的には定期的な身体計測や日常的な感染症への予防措置がきちんとされていることなどが挙げられます。アクシデントが起こった際も、担当職員が早めに発見し、すぐに看護師や主幹・所長に伝達され、確認しています。子どもの状態は、保護者に連絡し、その経緯や環境についての説明も丁寧に行っています。受診が必要な場合には、必ず保護者の了解のもとに各家庭の主治医や近隣の病院に職員が付き添い、状態の確認をしています。

◇特にコメントを要する点

【中・長期的な計画を策定し、計画に沿ったサービス提供をすることで、質の維持・向上に繋がります】

当保育所では、月ごとに目標設定をしています。また、月の目標達成に向け、週ごとの目標を立てて運営しています。しかし、月ごとの目標は年間の計画との連動が弱く、その年間計画も市の掲げる5か年計画との連動が強くはなっていません。市の中・長期的なビジョンと連動をより強くしながら、年間計画・月間計画に落とし込むことで、毎週・毎日の取り組みがより計画的・継続的なものになります。また、公立保育所のため異動があり、長くても6年で職員の入れ替わりが発生します。各階層（所長や主幹、3歳児クラス担任など）が行う業務・目指すべきゴールを記載したガイド・計画を作成することで、異動がある公立保育所でも、サービスの質を落とすことなく運営を続けることに繋がると考えられます。

【職員一人ひとりの育成計画を作成し、研修へ反映させることが求められます】

当保育所では、市が行う研修を職員に周知し、参加を促しています。また、主幹が講師となる所内研修を行い、サービスについての知識を深めています。しかし、それらの研修は職員一人ひとりの育成計画に沿ったものにはなっていません。職員一人ひとりのゴールを設定し、そのゴールに向かうための環境を作ることが求められます。一人ひとりに合った研修を受講することで、各職員が目標に向け、段階を踏み理解度を高められ、成長をより実感することが期待されます。当保育所の求める職員像に書かれていたように、『専門職としての意識』が高まり、サービスの質の向上に繋がると考えられます。

【手順書等ツールの活用により、サービスの全体的な底上げに繋がります】

当保育所には、保育マニュアル、保健マニュアル、地震発生時マニュアル、急病対応マニュアルなど、多くのマニュアルが存在しています。一方で、それぞれ1年間同じマニュアルを使っていて、途中で改良することはありませんでした。それらのマニュアルを使いながら、職員が気付いたことや意見を吸い上げる場を設定して、園独自のものに改良をすることが出来ると、より現場に近いマニュアルになると思われます。マニュアルを活用し、職員全員が足並みを揃えたサービス提供することが期待されます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受ける中で、保育所全体を振り返り、職場の見直しや改善などについて話し合い、役割分担等を明確にして効率的に進められるようにする。保育運営の基本となる「越谷市子ども・子育て支援事業計画」に沿った計画が十分でなかったことを踏まえ、保育内容の見直しを図り、改めてマニュアルの読み合わせを行い、共通認識を深め、保育のレベルアップに繋げていく。利用者からのアンケートでは、高評価をいただき職員の今後の活力となった。今後、「コメントを要する点」を保育所全体の課題と捉え、安心安全、質の向上を目指していく。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり